

**朴** そうですね、櫻井市長の思いは分かっていたつもりでしたが、今日改めて、お話を伺ってよかったと思いました。5万人の皆さんがキラリと輝ければ世界一のキラリと輝る街となると確信を持ちました。櫻井市長のお話で、宝はやっぱり自分の足元にあることに気づくことで、市民が主役の街づくりができるでしょう。

櫻井市長のお話を次の世代を担っていく子供達や、若い人達にとって、とてもいいアピールポイントになった気がします。多様な経験を積んでこられた大人、次の世代を担う子供達や若者が、一丸となって取り組む場として「かめやま市民大学キラリ」は大変重要なツールとなりますね。一歩ずつ確実に歩みながらキラリと輝りたいと改めて感じました。

**上野** ありがとうございます。櫻井市長が先程おっしゃった、3つの中の2番目に師範学校の話がありましたが、学びの基盤がすでに亀山にはできていたということですね。

**櫻井市長** 亀山中学校の所に藩校がありました。この藩校も特色がありまして、当時武士の子弟だけではなく、普通の市民の方にも開いていました。とてもいい話だと私は思っています。学びや次世代といった思いが強い街だと思います。

**上野** 私が三重大に在職していた時に、三重大学設立50周年記念事業として、50年史編さん事業がありました。この編さん事業のなかで、亀山の藩校である明倫館や、女子師範学校があったことなどが分かりました。櫻井市長がおっしゃった3つのコンセプトを活かした、「かめやま市民大学キラリ」を卒業された人は、非常に意識の高い市民であると思います。ただ、考えはあるけどなかなか行動できない市民をどのように促すかといった難しい部分もあります。その点について櫻井市長、何かよいアイデアはありますか。

**櫻井市長** ある意味井の中の蛙みたいな感じもあります。上野先生がおっしゃったように、のんびりと我々は暮らしているのですが、これはいい面と弱点もあると思うんです。しかし、かめやま環境市民大学がこの7年間を歩んで頂いた環境のプログラムは、気付きにご示唆を頂いたと思いますし、そこから様々なアクションへと間違いなく、繋がったと思っておりますので、同じ様に今後「かめやま市民大学キラリ」が環境を基軸に健康や文化を相互補完しながら、街の経済や環境、社会が上手く循環する仕組み作りに、繋がっていただけると思います。もう1つは、この地域の課題解消の為に学ばれた皆さんが、リーダーシップを発揮して地域の課題解消に力をかけていただけると信じています。

**上野** ありがとうございます。櫻井市長の思いを受けて「かめやま市民大学キラリ」の責任者としての朴先生の思いを聞かせて下さい。

## 市民一人ひとりの力で住みよい街に

**朴** やっぱり主役は亀山の皆さんであります。櫻井市長の思いを実現するには人材を適材適所に役割分担できるように手伝えることにあると思います。わが故郷、亀山に対する愛を見える形で創っていくためには、スキルアップする努力が必要

です。かめやま環境市民大学で学んでいるうちに多くの市民が気づいたんだと思います。亀山は一人一人の一生をかけて創りあげる、愛すべき街であることに。

一人の力の一つだけにすぎないけれど、いろいろな人々が集まることで $1 + 1 = 2$ ではなく、 $1 + 1 = 100$ にもなることに気づき、自分の力がフルに発揮できることを探しはじめています。「かめやま市民大学キラリ」は今まで来られた人には、もう一度再認識が出来る場になり、今まで来られなかった人には、仲間との出会いができる場になります。これまで集まった、約300人の人材が数年後には数十倍、数百倍の力に広がっていくだろうと信じています。

その為に私達は様々な工夫をしています。今年2011年は非常に重要な年となります。これまでのノウハウを生かして「かめやま市民大学キラリ」を創っています。「かめやま市民大学キラリ」で学んだ人材が地域のリーダーとなり、世界一の住みよい街の亀山を創っていけるよう精いっぱいがんばります。

**櫻井市長** 大変力強いお話を頂きました。ありがとうございます。東日本大震災においては、大きな打撃を受けましたが、人間の生きる力に逆に勇気もらったような気がします。何か関わりながら生きて行く中で、何か生き方を、今一度この街でこういう時代の中で改めて、考えさせられたと思います。

行政が今まで足らざる部分が多分あったかもしれません。そう言う意味で「かめやま市民大学キラリ」は正に先生方のお力や専門家の皆さん、関係者の皆さんの支援をお借りしながら、行政も市民大学と余りくっつき過ぎてもダメですし、全く違うスタンスをとるのもダメだと思います。この微妙な関係を大事にしながら、是非今後ともお力をお貸し頂けたら有難いなと思います。

**朴** ありがとうございます。適度な緊張関係なんですね。基本的には仲良しなのですが、時と場合によっては、激しく議論もする場が必要かと思ったり、また手を結んで一緒にやっていく事もありますので、私達は第三者的に、しがらみのない立場で認識共同体をつくっていきたいと思います。私達は亀山の市民と共に生きるアウトソーシングとして役割をきちんと果たしますので、これからもよろしくお願ひいたします。

**櫻井市長** よろしくお願ひいたします。

**上野** 今日はお忙しい中、貴重なお話をお聞かせ頂きありがとうございました。また今後ともよろしくお願ひいたします。

